

---

# 北海道浮魚ニュース

令和 6(2024)年度 17 号

2024 年 10 月 31 日

道総研 釧路水産試験場

【URL】 [https://www.hro.or.jp/fisheries/research/kushiro/topics/ukiuo\\_news.html](https://www.hro.or.jp/fisheries/research/kushiro/topics/ukiuo_news.html)

---

## ◎10 月浮魚類分布調査結果

10 月浮魚類分布調査を行いましたので、結果をお知らせします。

目的 : サンマをはじめとした浮魚類の分布状況を明らかにする

調査期間 : 2024 年 10 月 16~24 日

調査海域と調査地点 (図 1, 表 1, 図 2, 図 3) : 道東~三陸沖の 3 調査点

調査方法 : ・表中層トロール網による浮魚類の採集 (曳網時間は 1 時間)

・CTD による海洋観測

・NEAR-GOOS 地域リアルタイムデータベース (10 月中旬の表面水温・50m 水温) の

解析 [http://ds.data.jma.go.jp/gmd/goos/data/rrtdb/data\\_usage\\_J.html](http://ds.data.jma.go.jp/gmd/goos/data/rrtdb/data_usage_J.html)

調査船 : 北辰丸 (釧路水産試験場)

### 1. 水温分布 (図 1)

調査海域 (北緯 39~43 度, 東経 142~148 度) の表面水温は 13 から 25°C の範囲にありました (図 1 左上)。2024 年 10 月中旬の道東海域には、非常に大きな暖水塊が形成され、2023 年同時期 (図 1 左下) よりも表面水温の高い海域が多くなっています。暖水塊の影響は比較的深い水深帯にも及んでおり、2024 年の 50m 水温 (図 1 右上) を見ると、北緯 41~43 度, 東経 144~146 度の海域は 15°C を超えており、2023 年 10 月中旬 (図 1 右下) の同じ海域と比較すると 5~11°C 高くなっています。

15°C を下回る親潮系水は、2023 年 10 月下旬 (図 1 左下) は表面水温で見ると襟裳岬付近まで達していましたが、2024 年 10 月下旬 (図 1 左上) は暖水塊に阻まれ根室半島沖付近にとどまっています。

### 2. 表中層トロールによる浮魚類の採集尾数 (表 1, 図 2, 図 3)

調査期間中、発達した低気圧が連続して道東海域を通過したため、予定していた 12 調査地点の表中層トロール曳網調査のうち、実施できたのは 3 調査地点のみでした。

本調査におけるサンマの採集数は、2018 年以降、非常に少ない年が続いています (図 2)、今年度の表中層トロール網曳網調査では、サンマは 1 調査点 (SM04) で 4 個体が採集されただけでした (表 1, 図 2)。

調査中、調査地点 SM04 付近にはサンマ漁場が形成されており、数隻のさんま棒受網漁船の操業が確認できましたが、調査地点 SM04 の採集数は非常に少なく、分布していたサンマの量は多くはなかったと思われます。

今年度の調査で最も多く漁獲された浮魚類はカタクチイワシでした。カタクチイワシは、すべての調査地点で採集され、総採集数は 25,071 尾と全体の 99 %以上を占めました (表 1)。近年、サンマやマサバの採集数は減少していますが、カタクチイワシの採集数は増加傾向にあります (図 3)。

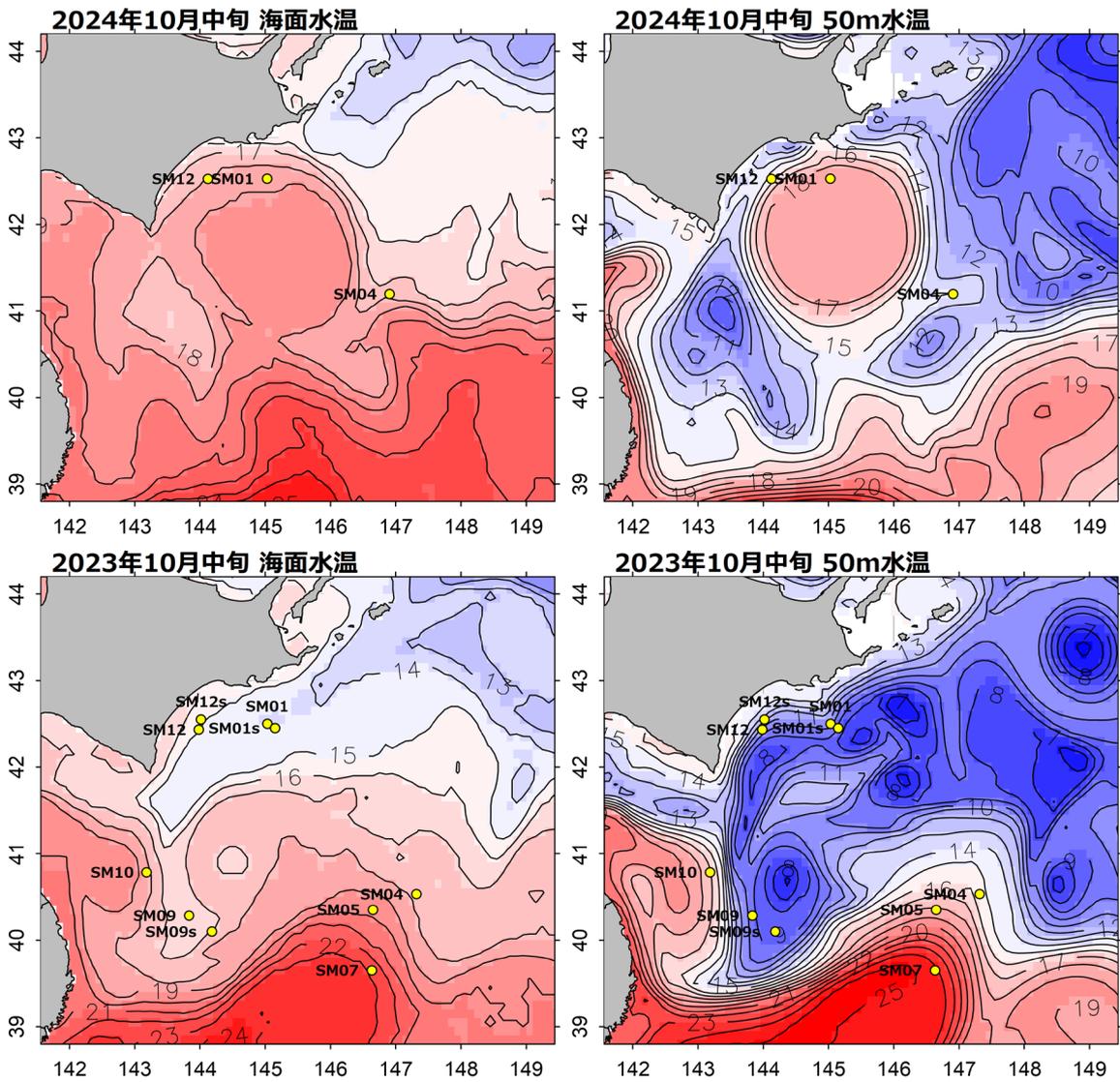


図1 2024年10月中旬の表面水温（左上）および50m水温（右上），2023年10月中旬の表面水温（左下）および50m水温（右下），グラフ内の○は調査地点を示す

表1 2024年10月浮魚類分布調査における海洋観測結果（CTD）および表中層トロール網による浮魚類の採集数

調査地点名	採集年月日	採集位置		水温				採集数（尾/時間）			
		緯度°	経度°	0m	50m	100m	200m	サンマ	マイワシ	カタクチ	サバ類
SM01	2024/10/17	42-32	145-02	19.7	19.7	17.2	14.7	0	0	15,844	1
SM12	2024/10/18	42-32	144-07	17.9	15.6	10.4	4.6	0	1	1,086	5
SM04	2024/10/22	41-12	146-54	16.0	13.8	4.8	3.3	4	0	8,141	0

採集数 ○ 500 ○ 1000 ○ 1500 ○ 2000 ○ 2500

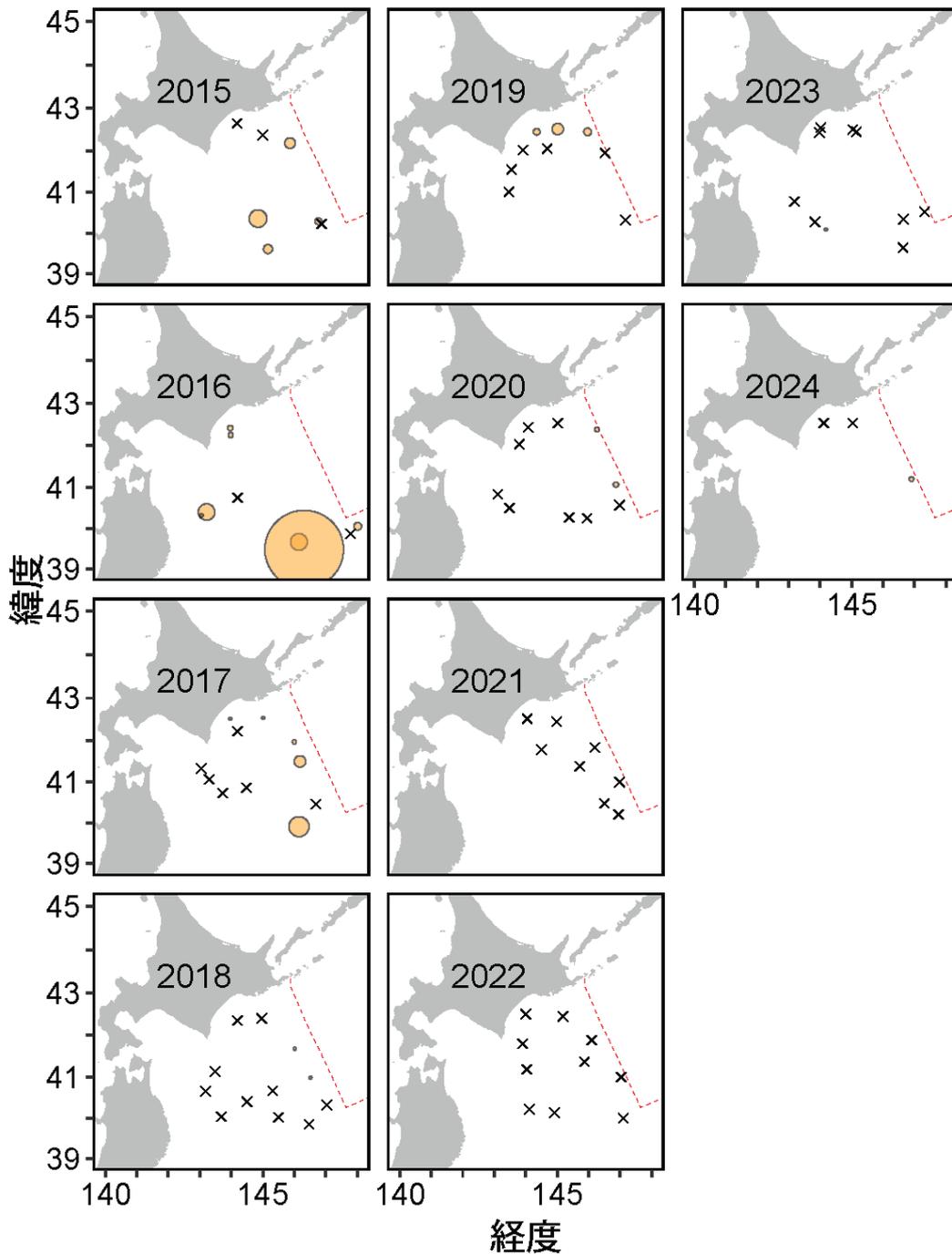


図2 2015～2024年10月浮魚類分布調査におけるサンマの採集数（尾／時間），グラフ内の×は採集なし，破線はロシアが主張する200海里ラインを示す

採集数 ● 5000 ● 10000 ● 15000 ● 20000 ● 25000

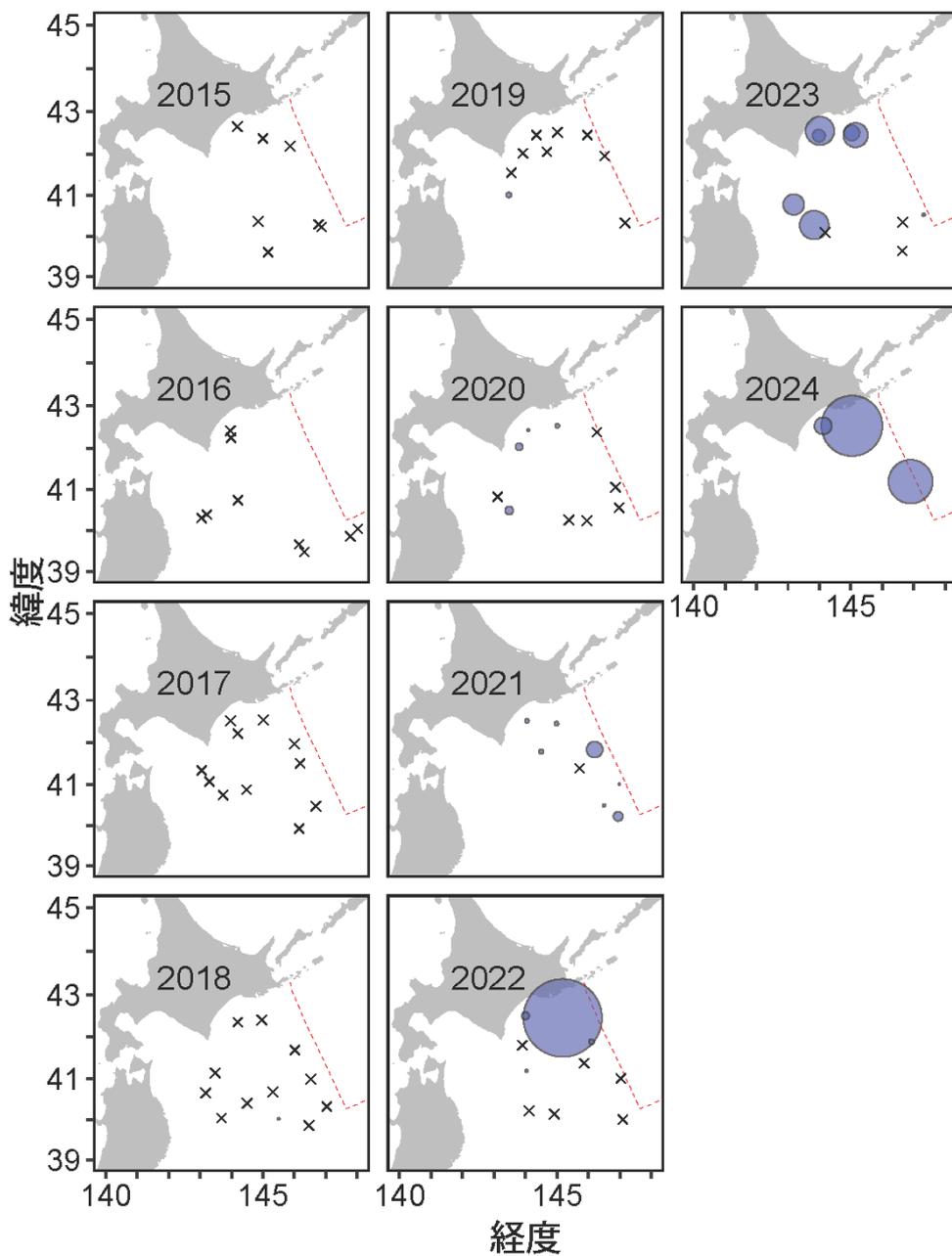


図3 2015～2024年10月浮魚類分布調査におけるカタクチイワシの採集数（尾／時間），グラフ内の×は採集なし，破線はロシアが主張する200海里ラインを示す

- 北辰丸 海洋観測速報（試験運用中） <https://hro-fish.net/hokushin/>  
（釧路水産試験場試験調査船北辰丸の海洋観測結果がご覧になれます。）
- 本調査は水産資源調査・評価推進委託事業により実施されました。
- お問い合わせ先：釧路水産試験場調査研究部，TEL:0154-23-6222 FAX:0154-23-6225